

福津ふしぎ発見



なまずがつなぐ不思議な縁

埼玉県吉川市の中原市長が5月9日に福津市を訪れ、福岡県大川市で行われる「なまずサミット」へのお誘いがありました。なぜ中原市長はお越しになったのでしょうか。



▲大森神社のなまずに感動する中原市長(右)と説明する宮司の伊東祐子さん

室町時代、河津興光おきみつは、四角区の亀山城に居城していました。永正8年(1511年)、京都の船岡山ふなおかの戦いで深手を負って危機的な時に、池のほとりに大なまずが現れ、背中に乗り助けられました。このなまずを上西郷の大森の神様に違いないと感謝し、以来この地区ではなまずを大切にしています。

大森神社には、大きななまずの像が鎮座しており、近くの総合運動公園もなまずの郷と名付けられました。

今年4月、吉川市の職員が福岡を旅行中、ラジオでなまずの郷運動公園でのさくら祭りの中継を聞いて驚きました。吉川市にもなまずの里公園があり、そこでさくら祭りを行っているのです。調べると、原崎市長の年齢も中原市長と同じと分かりました。驚いて中原市長に報告し、福津市への来訪につながったのです。これもなまずのご縁なのでしょうか。

